

日本 ESD 学会ニュースレター第 6 号

2021 年 4 月 30 日

編集発行：日本 ESD 学会 渉外・広報委員会（2021 年 3 月設置）
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 宮城教育大学 市瀬研究室 気付

目次

◆会長所感 「新年度を迎えて」

◆イベントの開催記録

日本 ESD 学会第 4 回近畿地方研究会オンラインシンポジウム

日本 ESD 学会第 4 回近畿地方研究会（ユネスコスクールオンライン近畿地方大会）

ESD 推進ネットワークユースフォーラム

日本 ESD 学会第 3 回大会

日本 ESD 学会第 2 回四国地方研究会（四国 ESD フォーラム）

◆その他

日本 ESD 学会ロゴマークの公募について

◆事務局からのお知らせ

◆日本 ESD 学会若手の会の活動について

「新年度を迎えて」

会長 見上一幸

昨年の10月から会長の職務をお預かりし、事務所の移転も終えて半年が経とうとしております。この間、旧事務局の大会実施準備に支えられ、オンラインでの第3回大会を開催できました。例年のような一堂に会しての大会ではありませんでしたが、会場までの時間や旅費等の負担が無く、オンラインの良さもあったという評価もいただきました。また発表の視聴を学会員以外も可能にしたため、学会外の関心ある方々にも知っていただく機会にもなりました。

さて、一昨年末に発生した COVID-19 感染症のパンデミックは、一年を過ぎた今も収束の兆候は見られません。感染症は人だけでなく、CSF (豚コレラ)や高病原性鳥インフルエンザなど家畜の中でも頻発しています。気候変動・地球温暖化については、ようやく日本や米国が本気で取り組もうとしていますが気候危機と言われるまでになっています。さらに世界中で起こっている民族間の対立や人種差別の顕在化などが、“持続可能な社会”を脅かしています。これら諸問題は同源と捉えることもでき、その根本的な解決には教育にこそ、その力があると信じます。

現在、ESD を担う UNESCO は、SDG4 の主導機関として ESD for 2030 を開始しました。日本には、ESD の提唱国としてさまざまな貢献が期待されており、国内的にはユネスコ加盟 70 周年の節目の年でもあります。ご承知のように国内では、学習指導要領に ESD が位置付けられ、「持続可能な社会の創り手」の育成に向けた活動が国内すべての学校で取り込まれることになりました。この学校での教育は「社会に開かれた教育課程」として、地域企業も含めた多様なステークホルダーとの連携により、ホールスクールでの課題解決が求められています。この実現には、理論的な研究と優れた実践の往還が求められます。日本 ESD 学会の役割は、まさにそこにあるように思います。

これまで ESD の推進拠点としてのユネスコスクール(ASPnet)には、今後一層の質の高さが求められ、国を越えた学校間の交流も求められています。このような状況の中で、本学会がグローバルな研究活動を推進するために、この度、山下邦明理事をリーダーとする国際ワーキンググループを立ち上げ、国際的な展開について検討することにしました。本学会としては、より多くの研究成果を海外に発信し、海外からの情報を入手して、会員と共有することを通じて、学会の一層の活性化を図りたいと考えます。日本 ESD 学会のビジビリティを向上させるためには、特に若い研究者や実践者の国際的な場で発言する機会への支援も必要と考えるとともに、国際的な意見交流の場の提供も重要と考えています。会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

イベントの開催記録

2020年7月19日

「日本ESD学会第4回近畿地方研究会オンラインシンポジウム」

日本ESD学会第4回近畿地方研究会実行委員会と人文地理学会地理教育研究部会(第50回)と本学会が主催し、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)とESD地域学習ー「Withコロナ」の経験を共有し「Postコロナ」に活かそうー」のテーマでオンラインシンポジウムが開催されました。詳細はESD研究第4号をご確認ください。

2020年11月1日、8日、15日

「日本ESD学会第4回近畿地方研究会(ユネスコスクールオンライン近畿地方大会)」

令和2年度文部科学省委託事業「ユネスコ未来共創プラットフォーム事業」として、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、奈良教育大学、近畿ESDコンソーシアムが主催、日本ESD学会第4回近畿地方研究会実行委員会が共催し、オンラインでの実践交流会、ESD研究会が実施されました。詳細はESD研究第4号をご確認ください。

2020年12月15日

「ESD推進ネットワークユースフォーラム」

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020のサテライトイベントとして、ESD推進ネットワークユースフォーラム「SDGs達成のためにユースネットワークが描く未来」と題して、日本ESD学会若手の会と、日本環境教育学会が協働し、オンラインイベントを開催しました。詳細は本誌「日本ESD学会若手の会の活動について」をご確認ください。

2021年2月6日、7日、20日、21日

「日本ESD学会第3回大会」

日本ESD学会第3回大会実行委員会と本学会が主催し、本学会大会がオンラインで開催されました。計22件の一般研究発表に加え、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議の鈴木克徳氏と聖心女子大学の永田佳之氏をお招きしたシンポジウムが行われました。詳細はESD研究第4号をご確認ください。

2021年3月14日

「日本ESD学会第2回四国地方研究会(四国ESDフォーラム)」

四国ESDフォーラムとして、四国地方ESD活動支援センター、環境省中国四国地方環境事務所四国事務所、愛大・ESDラボ、愛媛大学教職大学院と本学会が主催となり、第2回四国地方研究会が愛媛大学教育学部の実地及び、オンラインで開催されました。詳細はESD研究第4号をご確認ください。

日本 ESD 学会ロゴマークの公募について

渉外・広報委員会ロゴマーク審査部門

日本 ESD 学会は本年度で設立 5 年目を迎えようとしています。本学会がより多くの ESD 関係者に認知される広報を実施していくため、本学会のロゴマークを公募することになりました。

- 募集期間は 4 月 19 日（月）～5 月 31 日（月）17：00 まで
- 応募資格は、ESD に興味のある方（会員・非会員を問いません）。
- 採用された作品の作者には謝礼 5 万円を贈呈します。
- ロゴマークの公募の詳細については学会ウェブサイトをご覧ください。

- 本ロゴマークの審査にあたり、学会員の皆様に 2 次審査をオンライン上で審査いただく予定です。詳細が決まり次第、学会ウェブサイト、メーリングリスト等で報告します。

＼日本 ESD 学会のロゴマークを作ろう！！／



(<http://jsesd.xsrv.jp/logo210419>)

ロゴマークの公募要項は上記の二次元コードもしくは URL よりアクセスしてください。

日本 ESD 学会ウェブサイト>学会からのお知らせ>日本 ESD 学会のロゴマークを作ろう！！

本ロゴマーク公募に関する質問は渉外・広報委員会ロゴマーク審査部門までご連絡ください。

メールアドレス：jsesd.pub@gmail.com

事務局からのお知らせ

(1) オンライン学会管理システムの導入について

日本ESD学会では、このたび、オンラインの会員管理システムを導入することになりました。「会員限定マイページログイン」をクリックしてログインします。事務局から新システムの案内メールが到着したら、案内にしたがってマイページに掲載されている各自の情報をご確認いただき、ご所属などに変更がある場合にはご変更ください。

日本ESD学会

ホーム 概要 イベント 刊行物 入会案内 会員情報ページ お問い合わせ English

ESDの研究者と実践者をつたぐ場所
それが日本ESD

会員限定ページ ログイン

日本ESD学会は、ESDの理論的・実践的研究、実践の情報交換等持続可能な社会の創造に貢献することを目的としています。
日本ESD学会では、ESDの発展にご協力いただける会員を随時募りESDを推進してきた皆様、ESDを実践している皆様、ESDに随日本ESD学会にご参加いただけますようお願い申し上げます。
会則に賛同の上、入会を希望される方は入会案内からお申し込みください。

Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.All Rights Reserved

(2) クレジットカード・コンビニによる会費のお支払いについて

2021年度会費の納入をお願いいたします。新システムではクレジットカードとコンビニでの決済が可能になりました。会員限定マイページの会費納入状況欄から、2021年度以前にも未納の期間がないかどうかご確認ください、未納がある場合には納入をお願いします。なお、会費を2年以上滞納した場合には退会となりますのでご注意ください。

(3) 銀行、ATM、インターネットバンク等からの会費のお支払いについて

従来どおり、郵便局・ゆうちょ銀行や銀行の窓口、ATMやインターネットバンクからお振り込みされる場合には、以下の口座へお願いします。

【口座記号・番号】 00960-5-0311266
【口座名称】 日本 ESD 学会 (ニホンイーエスディーガッカイ)
【銀行名】 ゆうちょ銀行
【店名】 ○九九 (読み ゼロキユウキユウ)
【店番】 099
【預金種目】 当座
【口座番号】 0311266
【口座名称】 日本 ESD 学会 (ニホンイーエスディーガッカイ)

※このゆうちょ銀行口座は会費振り込み専用です。

(4) 学生会員の会費免除の申請について

新型コロナウイルス感染症の流行により学生の経済的状況の悪化が報じられています。この状況に鑑みて、希望する学生会員について本年度（2021年度）の会費（3,000円）を免除します。

2021年度の会費免除を希望する学生会員は、メール（jsesd.office@gmail.com）で事務局に6月末までに申請してください（経済状況を証明する書類などは一切必要ありません）。

(5) 後援や広報に関して

ESDに関する研究会等の開催を予定されている方々、日本ESD学会の後援やウェブサイトでの広報を希望される場合は、日本ESD学会事務局までご連絡ください。

(6) 地方研究会の開催

現職教員や各地でESDに関わっておられる会員の方々の研究発表の機会や研修の機会として、地方研究会の開催を歓迎します。開催を計画されている方は、日本ESD学会事務局までご相談ください。

ESD 推進ネットワークユースフォーラム

『SDGs 達成のためにユースネットワークが描く未来』 開催報告

青山真弓・飯田貴也・垣内冨都・神田和可子・後藤田洋介

若手の会では環境教育学会、ESD 推進ネットワークと協働し、2020 年 12 月 13 日に「ESD 推進ネットワークユースフォーラム『SDGs 達成のためにユースネットワークが描く未来』」のイベントを開催いたしました。

本イベントは、SDGs 達成に向けて活動するユース団体の「ビジョン」「ミッション」「活動状況」「抱えている課題」について情報交換することで、日本のユース団体同士の効果的な役割分担や協働などの可能性を見出すことを目的として開催いたしました。

当日は日本各地で活動を実施している 10 団体（ESD 日本ユース、Japan Youth Platform for Sustainability、エコ・リーグ（全国青年環境連盟）、All Japan Youth Eco-club、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、生物多様性わかものネットワーク、Climate Youth Japan、Fridays For Future Tokyo、名古屋わかもの会議、奈良教育大学ユネスコクラブ）に発表者としてご参加いただき、51 名の参加者がありました。

各団体の抱えている課題を共有することにより、「ユース同士の“つながり”」「ユース世代とその他の世代の“つながり”」の二つのつながりが今後重要になることが明らかとなりました。

本イベント実施後に行ったアンケート調査では、「ユース 10 団体が意見交換したことは良かったと思います」など、ユースの団体が交流するイベントへの評価を得ることができました。

日本 ESD 学会若手の会では、今回のようなイベントをはじめ、ESD の若手研究者・実践者が互いの活動を交流することにより、研究の深化や、実践の向上に資する活動を実施しています。オンラインを活用した勉強会や、学会でのサイドイベントを実施しています。ご関心のある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス：jsesd.wakate@gmail.com（担当：神田）

※本イベントは ESD 推進ネットワークフォーラムのサテライトイベントとして実施し、垣内会員が 2020 年 12 月 19 日に開催された「ESD 推進ネットワークフォーラム」にて報告を行いました。

編集後記

本誌より日本 ESD 学会ニュースレターの編集主体が事務局より渉外・広報委員会に移行しました。渉外・広報委員会は若手の会員を中心に組織されています。若手ならではの記事や編集、また若手の会とのタイアップ企画などを実施していきたいと考えております。会員の皆様に有益な情報となるよう努めてまいります。